

## 第2回双葉地区地域審議会 会議録

■日時：平成21年11月26日（木） 午後7時～9時

■場所：双葉ふれあい文化館2階 会議室

### ■会議次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 企画部長あいさつ
- 4 協議事項
  - ① 双葉庁舎等の空きスペースの利活用について
  - ② オフトーク通信事業について
- 5 報告事項
  - ① 国の補正予算に対する甲斐市の対応について
  - ② 双葉スマートインターチェンジについて
  - ③ 竜王駅周辺整備事業について
  - ④ 竜王庁舎増築事業について
- 6 その他
- 7 閉会

### ■出欠席者

- ・出席委員【7名／9名】
- ・欠席委員【2名】 ※小田切委員、山田委員
- ・事務局  
小田切企画部長、市川企画課長  
企画課総合政策担当：石合リーダー、石原、伊藤  
輿石双葉支所長、市民担当：三森  
小宮山総務課長、総務課庁舎整備担当：三井リーダー、長田

## 議録

### 1、開 会

#### 【企画課長】

皆さんこんばんは。定刻になりましたので、第2回目の双葉地区地域審議会を開催いたします。会議の前にあいさつを交わしたいと思いますので、全員ご起立をお願いします。

「相互に礼（こんばんは）」

それでは、最初に渡邊会長あいさつをお願いします。

### 2、会長あいさつ

#### 【会長】

皆さん改めましてこんばんは。今日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。今日は双葉地区の地域審議会ということで今年度に入ってから7月に甲斐市全体の審議会がありました。双葉地区としては今年度に入ってから初めてということになります。双葉地区ということで限定もされておりますので、双葉の問題についてどうしていくかということが中心になろうかと思っております。どうぞ忌憚ないご意見等をお寄せいただき、この地域が住みよい地域になりますようご協力賜りたいと思っております。今日は資料にもありますように双葉庁舎の改築に絡んでくる問題で、これをどう活用できる方向にもっていくかということと、オフトーク通信、これは双葉地区だけの問題であります。オフトーク通信のあり方、今後の対応をどう考えていくかについて、ご意見等をお寄せいただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。内容の説明等は事務局でやっていただくということでよろしくお願い申し上げます。

#### 【企画課長】

ありがとうございました。次に、企画部長あいさつ。小田切部長をお願いします。

### 3、企画部長あいさつ

#### 【企画部長】

委員の皆様こんばんは。企画部長の小田切でございます。今夜はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。甲斐市も合併をして5年が経過しました、委員の皆様方のご支援ご協力中で甲斐市の行政運営も順調に進んでおりますことに改めて感謝を申し上げます。

国では、長期の自民党政権の無駄を見直すため現在、事業仕分けを行っております。非常に国民の関心が高いものであります。連日、テレビ・新聞等で報道されています。市でも22年度の当初予算に向けて予算編成をする時期に入っておりまして、この事業仕分けによりまして地方への影響が心配という状況でございます。

今夜は双葉地区の地域審議会第2回目ということで、第1回目は7月21日に開催させていただきまして、新しい委員さんをご委嘱させていただいたわけですが、今夜は協議事項が2件、報告事項が4件ということですが、よろしくご審議いただきまして簡単ではございますが、あいさつに変えさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

**【企画課長】**

ありがとうございました。それでは協議に入りますが、その前に本日の欠席委員ご報告をさせていただきます。本日、欠席の連絡がありましたのが山田委員さん、小田切委員さんにつきましては連絡がつかないとのことであります。

本日資料の追加をさせていただきました。行政資料集と双葉庁舎の現在の平面図でございます。

それから、事務局の紹介をさせていただきます、小田切企画部長、企画課総合政策担当石合、石原、伊藤、私は企画課長の市川でございます。なお、双葉支所、総務課につきましてはそれぞれの協議事項の説明前に紹介させていただきます。

それでは、協議事項に入りたいと思いますので、議事進行につきまして渡邊会長にお願いします。よろしくお願いいたします。

4、協議事項

4、①双葉庁舎等の空きスペースの利活用について

**【会長】**

それでは、協議事項に入らせていただきます。規約によりまして私が議長を務めさせていただきますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日は協議事項2件、報告事項4件でございますが、先ずは、協議事項から入りたいと思います。この件の説明、経過を事務局からお願いします。

**【総務課長】**

総務課長の小宮山ですよろしくお願いいたします。協議事項の①双葉庁舎等の空きスペースの利活用についての説明と、報告事項の④竜王庁舎増築事業についての報告をさせていただきます。

まず、職員の紹介をさせていただきます。庁舎整備担当の三井と長田です。

それでは、協議事項の双葉庁舎等の空きスペースの利活用についてということで、お手元の資料の1ページから3ページと、先程事務局からお配りした A3 版の資料（現在の双葉庁舎と双葉公民館の平面図）でございますよろしくお願いいたします。

なお、新しい審議委員さんもおられますので、双葉庁舎の改築事業につきまして説明させていただきます。この事業につきましては、平成19年度に実施いたしました耐震診断を元に来年度、実施設計、翌23年度に耐震工事と支所設置に伴う大規模改修を行う計画となっております。庁舎整備事業建設基本計画では双葉庁舎の1階を支所窓口業務機能と多目的機能スペース、2階には会議室や文書保存書庫等の配置を検討することとなっております。これらの意見は、庁舎検討委員会等の考えに基づいたものであります。来年度、実施設計を委託し事業に入っていくわけでございます。なお、今年度中には今日お集まりの皆様方のご意見を伺いながら、検討委員会を中心に敷島支所の基本設計にあたります、双葉庁舎の基本構想を固めていきたいと考えております。

それでは、既存庁舎の概要を申し上げたいと思いますので、お手元の資料により説明させていただきます。

（資料により説明：P1～3 追加資料）

#### ※補足説明

基本設計における移転新築する敷島支所床面積約 780 m<sup>2</sup>で、既存双葉支所 1 階床面積約 980 m<sup>2</sup>あり 1 階部分で概ね支所機能が賄えるのではないのでしょうか。2 階部分の約 787 m<sup>2</sup>の利用形態を今後検討していきます。

現段階では、市の外郭団体または協会組織等の法人化も見据えて事務局などの配置が可能な方向で現在検討しています。また、誰でも安心して利用できるユニバーサルデザインには今後配慮する中で進めていきます。

本審議会の後、双葉地区自治会連合会でも、同様の内容で報告し協議していただく考えです。本庁機能の集約により、支所の行政サービスの低下がおこらないよう配慮し利便性を考えていきます。

#### 【会長】

ありがとうございました。説明を受けて皆様方のご意見をいただきたいと思いますが、庁舎と公民館に分けて意見集約を行いたいと思いますので忌憚のない意見をお願いします。

#### ○庁舎 2 階部分について

#### 【委員】

急に言われましてもこれとってないのですが、甲斐市内の外郭団体から入居してもよいというような情報がありますか。

#### 【総務課長】

外郭団体、数団体から事務所的なものとして使用したい要望がきています。

#### 【委員】

そういう情報がないと、我々に投げかけられてもではなかなか出てこない。

#### 【総務課長】

庁舎整備事業は庁舎検討委員会等の建設基本計画に定められておりますが、2 階部分については、会議室・文書保存書庫等の配置を検討することのご提言いただいておりますが、これだけのスペースが空きますので、地域でどういうものが皆さんに喜んで利用していただける施設かどうかを審議委員さんのご意見をいただき、並びに自治会連合会等へ同じ内容で意見を聞き参考にして事業を進めて行きたいと考えております。

#### 【委員】

ぜひ、手を上げそうな所へは積極的に話をしていただき、できるだけ空きスペースが無いようにしていただきたい。もう一つは、一般論ですが会議をやりたいが会議場が無いというケースが地域にあるような気がします。できればいつでも使えるような会議室で夜間も使えれば一番よい

のですが、その辺をお考えいただければありがたい。スペースはどのぐらいかという、そんなに大きなものでなくてよい、せめてこの（会議室）ぐらいあればよい。

**【事務局】**

実は先程、課長も言いました外郭団体等を見据えてということで今後、まだ分かりませんが、例えば、文化協会、体育協会等々が法人化された場合、必ず事務所的なものが必要なんだろうなということがありまして、事務的なスペースが取れる所を造りたいということで、今すぐということではございませんから、そこは小会議室で自由に使えるということになるかと思えます。その他に外郭団体と言いますか、いろいろ団体がございますけれども、そこを事務所的なもので使えないかというご意見が数団体、現在要望としてきています。その他にもスペースがございますから、多目的な会議が出来る自由に間仕切りができるスペースということであればそれでもいいですし、そんなご意見をいただければありがたいです。

**【委員】**

私は、会議室が必要かなと思います。なかなか会議室に行くのに苦労しているという話を聞くので、ご配慮していただければありがたいと思います。

**【会長】**

会議室という意見がございましたが、スペースをどのぐらいにするかということは別問題といたしまして、そういう意見がございましたので参考にさせていただきたい。事務局からの説明にありましたように、外郭団体の活用をどう考えていくかということです。

**【委員】**

2階の議場はどのようになるのか。

**【事務局】**

避難所を兼ねた多目的スペースとして考えています。現在、双葉公民館ホールに避難所的な役割を持たしているのですが、耐震改修をしますとその役割も持てるのかなと考えています。緊急時の一時避難所としてのスペースがとれるということです。

**【委員】**

現在の椅子等があるが。取り除くのか。

**【総務課長】**

そのとおりです。

**【委員】**

現在、農林振興課のある場所は過去に改修をしていて途中で間仕切りがあったものを取って一つにしているので、耐震補強はかなり脆弱になっているので、その辺を承知して物事を進めようと思っています。耐震改修をするということですね。

**【総務課長】**

当然、耐震をしてその後に内部の改修を同時に行っていきます。

**【委員】**

甲斐市の警察署としてはどうか。支所機能を公民館内に移して、庁舎を警察署としてはどうか。

**【会長】**

警察署の話が出ました。甲斐市として甲斐市単独の警察署を設けてほしいという要請はそれぞれしているわけですが、これについて警察署をどこに置くかということは白紙なんではないか。

**【総務課長】**

自治会でも要望活動は行ったことはある。

**【委員】**

手っ取り早いのは、要望してから敷地を決めるより、敷地があるからここに造ってもらうのがよいだろう。

**【委員】**

場所的にはこの場所が一番いい場所だろう。

**【委員】**

警察署を作る場合にはここを使ってくれという問題ではなく、改めて庁舎のスペース・駐車場あらゆるものを総合的に考えて造るのであって、ここに来てくださいという簡単なものではないと思う。

**【委員】**

空きスペースをいかに活用することを考えれば、そういうことも考えてもいいのではということですね。

**【委員】**

2階のスペースの中へ避難所的なものを設けてもらうことは結構であることだと思います。私

は、つくし野にいるわけですが、4,5年前に坊沢川が氾濫する寸前になり公民館の和室に一晚、避難した状況があります。災害時の避難場所は中学校体育館があるわけですが、小さい自治会の中で避難する場合は体育館等の広い場所ではなくて、小さい場所をお借りして避難することがいいのではないかと思いますので、できれば避難所のスペースもお願いします。

なお、現在の公民館の教育委員会が入っているスペースは以前は和室として使用していたわけですが、また、元の形に戻していただいで利用できるようにしてもらいたい。

#### 【委員】

2階に避難場所をという感覚が私にはひっかかる。若い人ばかりではないので。

#### 【事務局】

予算どりをする段階ですが、枠といたしましては、この庁舎はエレベーターがございません。先程、課長も申しましたようにユニバーサルデザイン、いわゆる誰にでもやさしい建物にしたいということですので、先ず第一にエレベーターの設置を考えております。身障の方も自由に2階に行けるようにエレベーターの設置も考えていますが、2階の使い勝手によっては不要になるのかなど、無駄なものになってもいけませんので、2階の主要用途によっては変わってくるかと考えております。ですから、ここで間取りを入れてというようなご審議はいただけないと思いますので、例えばオープンスペースを使った会議ができるものや、子育て支援の場がいいよとか、そのような大雑把なご意見で結構ですのでご審議願いたい、細かい設計のほうは検討委員会で細かくご審議していただくようになりますので。

#### 【委員】

子育て支援の関係は双葉地区では保健センターで行っているもので、それとの絡みもあるでしょうし、下のほうがいいよという人もおられるでしょうし、段上のほうがいいよという人もいるでしょうし、この辺は非常に調整が難しいところであります。確かに、ちびっ子広場的のものがあれば子育てには有利だと思います。そういう意味でお考えいただいで、結論を押し付けられれば最後は話し合いになるのでは無いでしょうか。

#### 【委員】

災害時にエレベーターは使用できないのでは。電気関係は駄目になるのではないかと。

#### 【事務局】

非常用バッテリーは勿論造りますが、ここでいう災害時とは小規模な災害で一時避難をされる場合でございます。

#### 【会長】

最初に庁舎と公民館は切り離して発言をとということでしたが、公民館と関連する問題も出てき

ていますので庁舎と公民館を併せて発言をお願いします。

○ここから庁舎2階部分と公民館の利用について併せて協議

**【委員】**

公民館の耐震補強は済んでいるのですか。

**【事務局】**

耐震の審査が終わりまして、建築基準法でいう耐震強度は満たしております。耐震補強はいらないということであります。

**【総務課長】**

基本的には公民館は、従来使っていたスペースに戻します。

**【委員】**

調理室はそのまま残しますか。

**【事務局】**

元々、手をつけておりませんのでそのまま使用できます。

**【委員】**

ボランティアさんがお年寄りに食事を提供しようという団体が1団体あります。現在は双葉保健センターを利用しているのですが、厨房施設が公民館の方がいいようです。調理室も整備されればこちらの利用要望が多分出てくることだと思います。

また、樋口委員も言いましたように、和室を元に戻していただければお年寄りが昼間、食事をしながら2時間3時間しゃべって家に帰るというようなボランティア活動ができます。多分その団体が喜んで使わしてくれと言ってくることだと思います。ぜひ、元に戻していただくと同時にそういう機能はそのまま残していただきたいと思います。

**【事務局】**

補足になりますが、先程公民館機能に戻すという話をしましたが、双葉庁舎の改築がどの程度の改築に及ぶのかということで違ってくるのですが、当初は職員が残っているながら改修を行う学校の耐震補強と同じように考えていたのですが、大規模な改修になれば職員はそこに残ってられないだろうということで、その後一年は公民館の教育委員会の事務室に支所が移って庁舎の改修を行い、改修が終わりましたら庁舎に戻って公民館の改修を行うということで公民館の改修がもしかしたら一年間ずれるかもしれません。改修の内容によって前後いたしますが、そういうことがあるということをご理解願いたいと思います。

公民館に関しましては元の形に戻すことと、この際ですから使い勝手がいいように何かござい

ましたら意見等をいただきたい。

**【総務課長】**

先程も言いましたように、自治会連合会等の団体にも話をいたしましてご意見等を聞いていきたいと考えております。

**【会長】**

出された問題をすべて取り入れて行うことは無理でしょうが、参考意見として取り上げてもらいたいと思います。他に何かありますか。

**【委員】**

職員駐車場はどうするのか。

**【総務課長】**

現状のまま借りていきます。

**【支所長】**

借りなくて済むと思います。

**【委員】**

どちらなのか。

**【支所長】**

借りなくて大丈夫です。庁舎が完成したときには、庁舎に入る職員数が減りますから。

**【会長】**

そうすると、駐車場の問題はそんなに心配する必要がないということですね。

よろしいでしょうか。それでは、事務局では出た意見を参考にしながら集約方法を考えてもらいたいよろしくをお願いします。なお、自治会連合会にも話をしていただき意見を聞いてもらいたいということですので、よろしくおねがいいたします。

それでは次に、オフトーク通信について興石支所長をお願いします。

4、②オフトーク通信事業について

**【支所長】**

ご苦勞様です。私からはオフトーク通信について説明させていただきます。始めに職員を紹介します。担当の三森でございます。

(資料により説明：P4. 5)

**【委員】**

オフトークは60年1月1日から始まった。オフトークの切り替えには長い沿線があった。有線放送から始まって、NTTの回線を利用した屋外スピーカーから始まって、双葉ではどうしようかという苦肉の策で、平成6年長田町長さんの時にオフトークをNTTでできると言うからやろうということになり、そこにNASA通信が入っている。当初は1,300万円払っている。今はいくら払っているか。

**【双葉支所長】**

今は760万円です。

**【委員】**

簡単に言ってオフトーク通信を切るということにはいかない。その辺をしないと4年に一回市長も選挙がある。そういうものに対してなかなか難しい。相手だって仕事なくなる。NASA通信だって、年間760万もらって仕事もしている。まず第一に加入者だけのアンケートを取る。アンケートを取って、例えば、現在オフトーク通信を聞いていますか。何回は分からないけれども、音楽は聴いていますかとか、そういう人もいる。そういうものを土台にして物事を進めないと、これは相手の仕事を奪うことになる。竜地にあるNASA通信にお願いして1,300万円払って、旧双葉の伝達に良い、災害時にも良いということであったけれども、最初は60パーセントしか入らなかった。30パーセントは入らなかった、それは580円が掛かるから入らない。それから時代も流れて、今度はインターネット、光通信だといって加入者がどんどん減ってきた。減ってきたけれど加入率も減るから相手も承知しているわけである。これをゼロにするというのは、石橋を叩いて渡らないとうまくない。どういう手法をするかは、どうしたら合法的に解消できるだろうか、まずそれをしてアンケートを取りましたけれども、アンケートはこうでしたと、インターネットをやっている光通信を入れない家じゃまだ使えるかもしれないけれど。今は新聞に葬儀欄全て出るから私も全然聞いていない。演歌も聴いていない。止めていくにはアンケートを取って、例えば止めますか、止めませんか聞いた方がいい。加入率が少ないから止めますっていうことではうまくないと思う。相手の仕事を奪うって事だから、アナウンサーもいるわけだから、時間になればちゃんと放送している。その辺を十分検討して、ここでは方向性を出しても構わないけれど、もっと大きく広げるときは、一回自治会へ出すのもいいけれど、アンケートを取って加入者だけでもいいから、石橋を叩いて渡ってもらいたいと思う。

**【委員】**

関連で、20年度の自治会の代表理事の関係でアンケート問題について協議した結果があります。事務局でアンケートを集計した結果を持っていると思いますので、21年1月に委員会、研修会があった席でそのアンケートの結果を発表しているはずですけども。その結果必要ないという結果の方は多かったです。

【会長】

それは、全員を全体を対象としたものでしょうか。

【双葉支所長】

加入世帯だけではなくて無作為に実施しました。

【会長】

加入世帯だけアンケートを取れば本当に必要かどうかわかる。

【委員】

一般の加入者は588円の使用料だけで市から補助が出ていることは知らない。

【委員】

これを始めるときには、いろいろとあったのだが、最終的には役場からお願いし、渋々返事してくれた。

【企画課長】

アンケートの対象者は誰なのか。

【支所長】

対象者は自治会長と組長にアンケートを行った経過があります。

【委員】

アンケートをやるなら加入者全体に実施すべきである。

【会長】

利用者が減ってきていることは加入者がいないということです。

【委員】

双葉地区への転入者はオフトークがあることは知らない。

【会長】

オフトークに変わるものは考えていますか。

【支所長】

特に考えておりません。逆に何かいい案があれば教えていただきたい。

**【企画課長】**

実は、興石支所長からオフトークの加入率が減ってきているため、どうしたらよいかと相談がありまして、合併して5年も経過しているので、私からの提案で地域審議会の案件として委員さんの意見を聞き、また、12月の自治会連合会でも意見も聞き、多くの意見を集約したらどうかと話をしました。

またその時に、アンケート調査もやってもたらどうかと言ったのですが、ただ、いきなりアンケート調査をするのもおかしなもので、やはり地域審議委員や自治会長のご意見も聞き、アンケート調査したらどうかということであれば、それに基づき実施しその結果、結論を出せばよいとことであることを話をいたしました。

**【委員】**

この問題は、委員会等を立ち上げ市長から委員会へ諮問、答申という流れを作ったほうがよい。相手（業者）がいることなので慎重に進めてもらいたい。

**【委員】**

当時は区長、消防団関係者が持っていた。メリット面しか見ていなかった。

**【会長】**

出された意見を参考にしていきたい。12月に自治会長会議にも問題を定義して意見を集約していきたいと思います。よろしいでしょうか。検討事項の2項目は終わらせていただきます。

**【課長】**

活発なご協議ありがとうございました。これらを参考にして今後の推進につなげていきたいと考えております。

なお、報告事項は四つありますが、担当する総務課が来ておりますので④竜王庁舎増築事業を最初に報告させていただき、その後①②③を担当から報告いたします。また、所管がいろいろな課にまたいでおり担当課が見えておりませんので、事務局からの一方的な報告となり報告事項ということで質疑は割愛させていただきますのでよろしくお願いいたします。

**【総務課長】**

5、④竜王庁舎増築事業について

(資料により説明：P18～26)

※総務課退席

## 【会長】

それでは、残りの報告事項について説明をお願いします。

## 【事務局】

### 5、①国の補正予算に対する甲斐市の対応について

資料の6ページをお開きいただきたいと思います。始めに5、①国の補正予算に対する甲斐市の対応について説明させていただきます。前自民党政権下におきまして、経済不況打破に向けた大規模な補正予算が組まれました。予算総額が16兆円というかつてない大型の補正予算でございました。国の方から様々な事業メニューが示されて、地方における取り組みを要請されたところでもあります。甲斐市におきましては、安心・安全なまちづくりの構築を基本に、課題とされている事業、また緊急性等を考慮した中で、次の事業の実施を決定して予算化したところでございます。

それでは、個々の事業についてご説明いたします。

(資料により説明：P6～9)

### ※補足説明

#### 1 防災行政デジタル無線

- ・最終的には親局1局、子局200局、個別受信機(指定避難場所)22箇所、個別受信機(難聴地区)178箇所 平成25年度の完成を目指し設計が行われています。

#### 2 指定避難場所備蓄資材整備

- ・今回、これらの備蓄資材を整備することにより、22箇所の指定避難場所への備蓄資材がフラット化されます。

#### 5 竜王赤坂地区活性化事業

- ・【目標】商標登録も視野に入れ事業に取り組んでいきます。

#### 7 志麻の湯メタンガス分離装置設置事業

- ・メタンガスは地中にあるときは温泉内に溶け込んでおります。ポンプで汲み上げ圧力が下がりますと自然に温泉から湧き出しメタンガスが出てくる。濃度が5%以上になると爆発の危険性があります。平成19年6月に東京渋谷区で温泉の爆発事故があり、メタンガスが引き起こした爆発事故であります。

#### 8 学校ICT環境整備事業

- ・【整備内容】校内LAN LANとは配線のことです。

#### 10 中学校武道場新築事業

- ・平成24年度から武道が必修科目になります。

## 11 双葉体育館改築工事

- ・建設場所は既存体育館の北側の市有地となります。

## 5、②双葉スマート・インターチェンジについて

(資料により説明：P10.11)

### ※補足説明

- ・市道登美団地大屋敷線の交差点から ETC 出入り口までの進入路は既存道路を拡幅整備しました。また、11月21日には開通セレモニーが行われました。

## 5、③竜王駅周辺整備事業について

(資料により説明：P12～17)

### ※補足説明

- ・南口駅前広場 自動二輪車置場2箇所、駐輪場484台、短時間駐車場16台
- 北口駅前広場 自動二輪車置場1箇所、駐輪場620台、短時間駐車場8台

以上で報告事項の説明を終わります。よろしくお願ひします。

### 【会長】

補足させていただきますけれども、バスの関係、南口は路線バス、北口は観光バスということですか。

### 【企画課長】

はいそうでございます。

### 【会長】

そんなことで考えているようでございます。

### 【委員】

北口は観光バス専用か。路線バスは考えていないんですか。

### 【企画課長】

観光バスとかイベント時のバスの発着ということで今のところ考えております。そうしないと南口はどこ行きのバス、北口はどこ行きのバスとなると、利用者が戸惑うということもありましたので、南口は山梨交通の路線バスの乗降所、北口についてはある程度観光バスとか市でイベントする等の駐車場のバス、北口はバスの停車が1台分しかない。17ページにバス停と書いてある所なんですけれども、路線バスをここにもってくると、かち合っって渋滞にもなるということでした

ので北口は観光バスとイベント時のバス専用という仕分けをさせていただきました。

**【会長】**

ありがとうございました。報告事項以上で終了でございます。

**【委員】**

平成 21 年度の欄で、いま国で仕分けを行っていますが、その仕分けに該当する事業はこの中に入っていますか。

**【企画部長】**

この予算については担当で説明しましたが、9月の議会に予算補正で議決をいただきました。今回のこれだけの大型事業ができたのは、先ほど説明した内容でございます。旧政権時代の最後の大型補正ということで甲斐市でも安全・安心の実現のまちづくりということで、今度のメニューが学校の体育館等、安全・安心の実現のための事業になっているわけですが、国がいま事業仕分けしているのは、22年度の当初予算編成に向けての事業仕分けということで、この麻生政権時代に16兆円の予算編成をしたものについては、すでにご承知のとおり3億円削ったわけですよ、それには該当していないということですから、ほぼこの事業については実施できるということで、すでに設計等進めている段階でございます。

**【会長】**

ありがとうございました。時間もだいぶ遅くなりそうですので、私の役目はここで終了させていただきます。

**【企画課長】**

ありがとうございました。6、その他ございますか。

**【委員】**

いま都市計画区域が韮崎と甲府に分かれていますよね、940ヘクタールが都市計画区域でそれ以外は無指定なんです。そこへ家がどんどん建っていく。この際だから甲府都市計画にいつ入るか分からないけれども、入ると同時に都市計画の網はあるけれど、かぶせていけばいいんじゃないかなと思う。固まった面積で3000㎡以下とか、以上になると県の宅開条例、まちの小規模開発が適用されて整然としたまちづくりがあるけれども、個々に売買した時においては、上なんかじゃ道がなくても、馬入れみたいにちょっと広ければ建築許可が下りてしまう。そうなることで後で都市計画が施行されたときにどうかということになるから、甲府都計に入ると同時に、山は除いても、果樹地に可能なところについては、要望だけそういう意見があるということで都市計画の網をかぶせていくということも行政の方法ではないかなと思う。そうしていかないと毎月毎月委員会へかかる宅地が相当多い。かかるのが区域外、区域外は結局土地が安い。そのような

ことで、家が自分の思うところにぼつぼつと建ってしまう。それではいいまちづくりができない。都市計画でいう整然なまちづくりがほど遠くなるから、都市計画区域の変更が近々あると思うよ。合併以降5年も経ってるし、まだまだそれが施行されてないし、国の方針もまだ分からない。双葉は南面の緩やかな傾斜地で住みやすい環境がいいところだから、ある程度網をかぶせていつて規制をしていくこともいいんじゃないかと思う。そんな意見もあったと、関係方面へ伝えてもらいたい。

#### 【企画部長】

担当のところへ豊田委員から意見があったと伝えておきます。しかし、豊田委員さんのおっしゃる都市計画の区域指定についても、双葉地区の土地を持っておられる方が、他の方もそういう意見であってくれば、そういう方向性でいけると思うけれども、みんな個人の財産ですから、反対が多ければなかなかそういう形では難しい。

#### 【委員】

38年に双葉の都市計画になったときには云も寸もない。甲府都市計画区域に入ると市街化区域と市街化調整区域に分かれる。それをどこで線を引くかである。そういう意見があったと伝えてもらいたい。

#### 【会長】

検討事項とさせてもらったんですけども、その他の項目の中にでいいわけですね。双葉地域としてどうしたらいいか、こうして欲しいなという問題がそれぞれあると思うんです。今日はこの問題についてあまり触れないということで締めたと思います。次の時にはそういう問題もそれぞれ個々も取り上げながらやって参りたいと思います。ご認識いただきたいと思います。

#### 【委員】

その他の関係で、塩崎駅周辺整備事業の件で、市の議会だよりなどを見ると意見を述べている。

#### 【会長】

ちょっと、その関係で、先日保坂市長と意見交換をさせていただきました。塩崎駅のことについて真剣に考えなければいけないということから、意見集約はできているんですけども、相手がいる問題でございます、JRという大きいものがあるわけですから、簡単に「はいそうですか」といかない部分もあると思います。いまの状況のままでは塩崎駅はあまり陽の目を見ない駅をいうことでございます。竜王駅が立派なものに衣替えするというところでございますので、それと比較して、あまりにみ惨めな状況になっているということから、考えなければいけないということで意見集約をさせていただいている。、先日市長がJRに早速赴いたと市長から報告をいただきました。なんらかの前進をしようという動きが出ているということをお含みおきい

ただければと思います。

**【委員】**

これは緊急な問題でね、朝の通勤時間、通学時間、雨の降った時にあれだけの狭いホームの中でごった返している。いつか事故が起きると思う。現状朝行って一度見て下さい。周りの自動車の渋滞とか、ホームなんか狭い、屋根もないでしょ、傘なんかさしたらどうにもならない。事故がない方が珍しいくらい。ですからあの状況を見て検討していただきたい。

**【会長】**

そんな話もしましてね、ホームが狭い、特急列車も通るということを考えてみると危険が潜んでいるということから、ホーム拡張、部分的にはなると思うが屋根の問題。

**【委員】**

車の送り迎えの車がロータリーの所は止まっちゃってすごいですよ。下をくぐる所は通れない状況なんですよ。

**【委員】**

あれは地域の人の協力がなければできない。その人たちと膝を交えて答えを出していかなければ駄目である。

**【委員】**

駅裏の通学路に遊歩道を付けてもらいたいということで、私のところと緑が丘と市と教育委員会に要望して一応歩道という形で、間に掛かっている橋が狭いんですよ。すれ違いができないんですよ。そこの所をなんとか通学するときの歩道を作ってくれと言ったんですけども、当時の課長がそんなものを作れば市の予算がないと言って、人命が大切か予算が大切かということですよ。簡単にあんな事を言われて地域住民はだまされてられないですよ。ここばかり予算をやれば他は仕事ができん。いくらかかるんですか。竜王駅の予算を見れば何十億でしょ、それを今のところ全然かけていない、同じ市の中でありながら地域差を作っちゃいけない。

**【委員】**

この前に12月の審議会の時に、全体の建設予算があって、双葉町が何パーセント、竜王が何パーセント、敷島が何パーセント、事業の配分というのも基本的に説明してくれなければおかしい。この地域審議会はそうではない。合併特例法の中に決められている、作らなければならない10年間は、すぐに作るんだけど議員さんが1年半延びたから、これが1年半延びて向こうにいくということ、ここでは予算とかそういうものを作って、地域審議会の意見を吸い上げて予算化していくというのが、本来の地域審議会だと思う。主要事業の説明はどちらでもよい。

**【委員】**

竜王駅の議会だよりを見ると乗降者が5,000人と広報でいっている、塩崎駅でラザウオークがオープンして乗降者はかなりの人数になると思う。

**【委員】**

合併債が何十億あってその使い方は、竜王に何パーセント、敷島に何パーセント、こっちに何パーセント、そういうのをパーセントで表にしてくれて、報告も受けなければだめ。これは、合併するときに作ったのだから、合併をしてみんな同じような行政ができるよってという審議をするのがこれだから。本来は、お金を平等に使っていく、同じように使っているかということ審議するのがこれだと思う。

**【委員】**

学校の施設へ行っても、双葉については冷暖房の施設がしてある、他の所ではしてないからそれを使わなくてわざわざストーブ使っているという状況なんです。

**【委員】**

それに、車券場も双葉町に売り上げを入れてもらわなければならないのを、予防注射に使ったり、全体で使うから構わないけど、本来はそうだと思う。だが市に合併したからいろいろ言わないけれど本来ならばここに報告してもらわないといけない。それが地域審議会の本来の趣旨だと思う。

**【会長】**

意見として受けて止めておいて、対応できるものは対応していただきたいと思います。私の方は以上です。

**【企画課長】**

ありがとうございました。それでは、以上で事務局の方で用意いたしました案件は全て終了でございます。会長さんにはスムーズな進捗にありがとうございます。

それでは、閉会のことばを井山副会長よろしく申し上げます。

**【副会長】**

初めてこういう席で様々な意見がありまして、ただ驚くばかりでございました。確かに地域審議委員会というものは、4、5年やっておりますが、やはり地域の人々の声を大にして行政へ繋げていけるようなそういう会であって欲しいと、毎年毎年感じております。意見というものはある程度、たとえ3パーセントでも5パーセントでも行政のところへ繋げていけたら素晴らしいものではないかと思っております。こうして皆様の意見を出していただきま

して聞いておりますと、確かにその通りだと思います。我々がこういう声を出して皆さん行政の方へ繋げていけるようなパイプ役として活躍していかなければならないかと思っております。これからもいろんな意見を聞きまして、女性として地域にまず帰りまして一つでもある団体に帰りまして伝えていくことができましたら、私は喜びと感じております。本当に今日のご苦勞様でございました。

**【企画課長】**

ありがとうございました。それでは、以上をもって終了でございます。先程来から皆様方から貴重なご意見、最後には塩崎駅という内容もありまして、市の方でも塩崎の方も今後本格的に計画づくりをしていくということで市長も申しておりますので、また審議会の方にご意見等を正式に聞く場もあろうかと思っておりますけれども、その時にはよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは最後にあいさつを交わしまして閉会といたします。

「相互に礼（ご苦勞様でした）」

■午後9時終了